

## 第6学年学級活動(1)指導案

日時 平成29年11月10日(金)

児童 洋野町立種市小学校6年1組

男子13名 女子13名 計26名

指導者 新沼 拓

### 1 議題

「全校の仲がさらに深まるクリスマス運動会のグループの分け方を決めよう」

(1)ーウ 学校における多様な集団の生活の向上

### 2 付けたい力

(1) **単元を通して**(紀要P19参照)

学校生活をより楽しく豊かなものにするためにどうすればいいかを意欲的かつ具体的に考え、みんなと対等の立場で支え合って実践できる力を養う。

(2) **学級会の中で**(紀要P3参照)

<計画委員>自分たちで活動計画を作成し、効率的な話し合いの進め方を工夫して進行することができる力を養う。

<全 員 >学校の生活を楽しく豊かなものにするために意欲的に話し合い、創意工夫を生かして合意形成を図ることができる力を養う。

(3) **特別活動における「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点**

今回は単元を通して「社会参画」に重点をおいて指導する。

### 3 児童の実態

本校が独自に行っている児童の意識調査の結果は、「友達の意見をしっかり聞いている」の質問項目において肯定的回答が100%になるなど、多くの項目で上昇傾向がみられた。一方で、自分の意見を話すことに苦手意識を持っている児童が多くいる。また提案に対して様々な想定をすることが苦手で、「心配な点」を出すことが苦手な児童が多い。

### 4 活動計画と評価規準

	日時	計画委員の動きと評価規準	全員の動きと評価規準	支援
<b>事前</b>	11/1(水) かがやき		・学級会シートに自分の考えを記入する。 <b>【関心・意欲・態度】</b> 議題の内容に関心を持ち、学級会シートに自分の考えをまとめようとしている。	・学級会シートを作成する。 ・議題や提案理由等を確認し、理由とともに意見を書かせる。 ・短冊を用意する。
	11/8(水) 昼休み	・意見をグルーピングし、話し合いの進め方の見通しを持つ。 出された意見を掲示する。 <b>【知識・理解】</b> 話し合い活動の効率的な進め方を理解している。		・話し合いの進め方についての確認をする。
<b>事後</b>	12/5(火) ～ 12/14(木)		・決まったことをもとに準備・練習を始める。 <b>【思考・判断・実践】</b> めあてを達成できるようにみんなが協力しながら、よりよく実践しようと工夫している。	・話し合いで決まったことを短冊に書く。 ・適宜、グループの活動の様子を観察し、指導・助言をする。
	12/15(金)		・実践後のふり返しを行う。 <b>【思考・判断・実践】</b> 実践し、自他の成長を感じながらふり返しを書いている。	

5 本時の指導

(1) 提案理由とキーワード

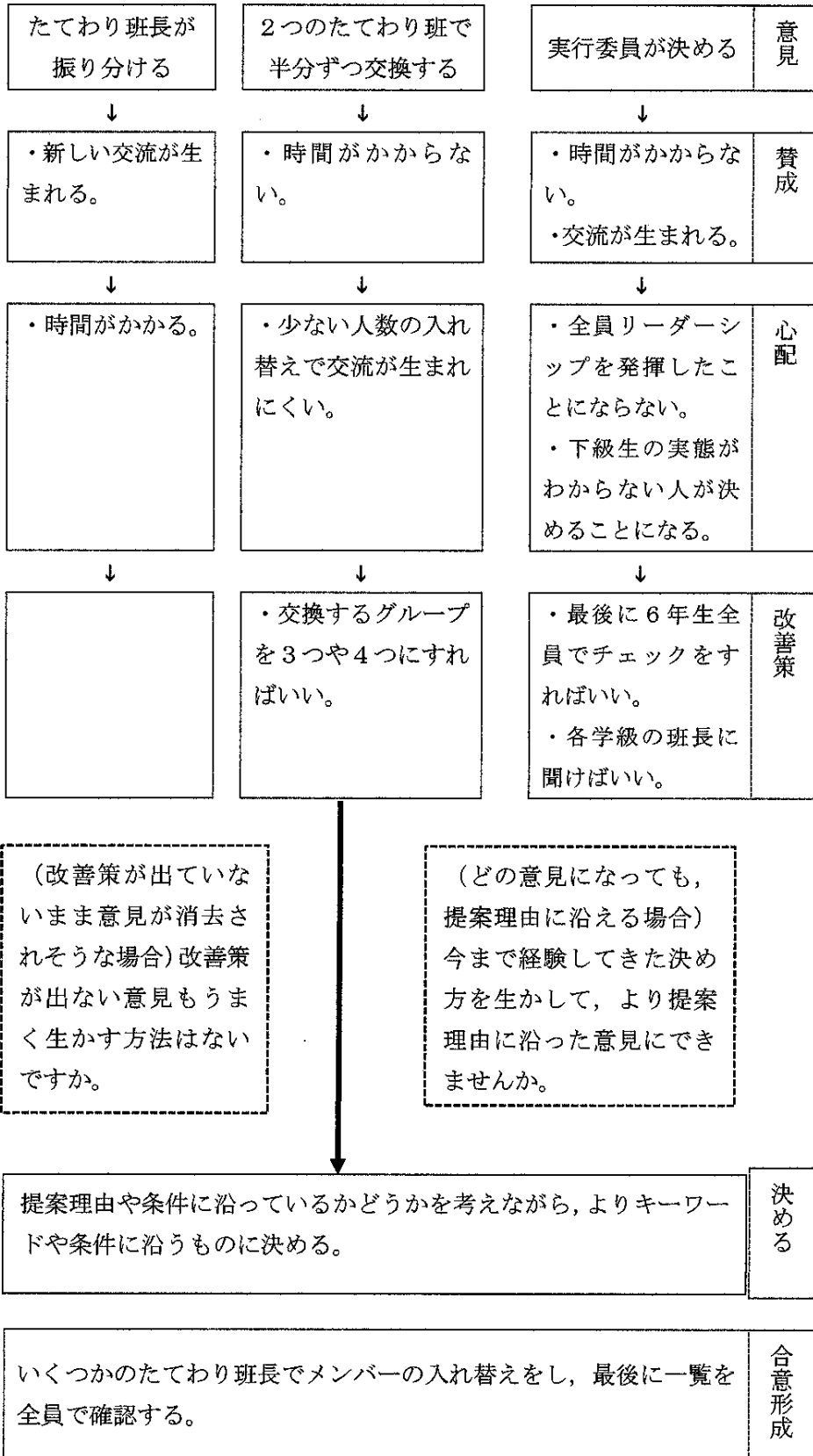
今年度、最上級生として全校遊びや清掃活動をたてわり班長として進めてきた。10月の生活目標達成のための取り組みでもたてわり班での企画を行い、さらに仲を深めることができた。今度は、たてわり班以外で普段交流していない下級生とも交流をし、全校の仲をさらに深めたいという声があがった。また、さらに交流を深める中で6年生のリーダーシップを発揮し、みんなに憧れてもらえる6年生になりたいという声があがったため、次の提案理由のもと、この議題を扱う。

① これまで関わりが少なかった（なかった）人とも交流したいから→交流  
 ② 6年生がリーダーシップを発揮して企画を動かす→リーダーシップ

(2) 展開

話し合いの順序	予想される子どもの発言・指導上の留意点・目指す子どもの姿と評価方法																
1 はじめのことば	<p>・1～5 までではスムーズに進行するように事前に指導をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>決まっていること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たてわり班ではないグループ</li> <li>・1グループの人数はたてわり班2つ分で14人～16人程度。計14グループ</li> <li>・グループに全学年入る。男女はある程度バランスよく入るようにする。</li> <li>・できるだけ力が平等になるようにする。（差があると盛り上がらない）</li> <li>・6年生が決める</li> <li>・あまり時間がかからない方法</li> </ul> </div> <p>・提案理由をキーワードで子どもに示し、話し合いが提案理由に沿ったものにするよう助言する。</p>																
2 計画委員紹介																	
3 議題・提案理由・決まっていることの確認																	
4 めあての確認																	
5 先生から																	
6 話し合い	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">実行委員が決める</th> <th style="width: 25%;">2つのたてわり班で半分(3～4人)ずつ交換する</th> <th style="width: 25%;">たてわり班長が振り分ける</th> <th style="width: 25%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・少ない人数で相談すれば、時間があまりかからない。 ・今までの違うメンバーにする新しい交流が生まれる。</td> <td>・少ない人数の入れ替えなので、あまり時間がかからない。</td> <td>・少ない人数の入れ替えなので、新しい交流が生まれる。 ・班長なら力関係がわかり、バランスよくチームを組むことができる。</td> <td style="text-align: center;">賛成</td> </tr> <tr> <td>・リーダーシップを発揮するのの一部の人となってしまう。 ・自分(実行委員)の班以外の下級生の実態がわからないのでは。</td> <td>・少ない人数の入れ替えなので、新しい交流が生まれる。</td> <td>・班長全員の誰がどのグループか確認しながら進めなくてはならないので、時間がかかる。</td> <td style="text-align: center;">心配</td> </tr> <tr> <td>・最後にできあがったグループを見て、6年生全員で調整すればよい。 ・各学級の班長に教えて力の程度を教えればよい。</td> <td>・交換するグループの数を増やせばよい。(例えば、4つのグループで交換する)</td> <td>・土台はやはり実行委員など少数に決めてもらい、最後にたてわり班長全員の確認をするのが時間がかからなくてよい。</td> <td style="text-align: center;">改善</td> </tr> </tbody> </table> <p>○改善策を中心に折り合いをつけながらまとめていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>【思考・判断・実践】</b>              よりよい活動になるように考え、判断し、まとめようと話し合っている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>指導・助言</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案理由に沿って心配な点を出すように促す。                  (たら、れば、を出さないようにする。)</li> <li>・発言が難しい児童には、計画委員が作成した掲示を見ながら、あらかじめワークシートに記入させる。</li> <li>・折り合いをつけようという前向きな発言は取り上げて賞賛する。</li> </ul> </div>	実行委員が決める	2つのたてわり班で半分(3～4人)ずつ交換する	たてわり班長が振り分ける		・少ない人数で相談すれば、時間があまりかからない。 ・今までの違うメンバーにする新しい交流が生まれる。	・少ない人数の入れ替えなので、あまり時間がかからない。	・少ない人数の入れ替えなので、新しい交流が生まれる。 ・班長なら力関係がわかり、バランスよくチームを組むことができる。	賛成	・リーダーシップを発揮するのの一部の人となってしまう。 ・自分(実行委員)の班以外の下級生の実態がわからないのでは。	・少ない人数の入れ替えなので、新しい交流が生まれる。	・班長全員の誰がどのグループか確認しながら進めなくてはならないので、時間がかかる。	心配	・最後にできあがったグループを見て、6年生全員で調整すればよい。 ・各学級の班長に教えて力の程度を教えればよい。	・交換するグループの数を増やせばよい。(例えば、4つのグループで交換する)	・土台はやはり実行委員など少数に決めてもらい、最後にたてわり班長全員の確認をするのが時間がかからなくてよい。	改善
実行委員が決める	2つのたてわり班で半分(3～4人)ずつ交換する	たてわり班長が振り分ける															
・少ない人数で相談すれば、時間があまりかからない。 ・今までの違うメンバーにする新しい交流が生まれる。	・少ない人数の入れ替えなので、あまり時間がかからない。	・少ない人数の入れ替えなので、新しい交流が生まれる。 ・班長なら力関係がわかり、バランスよくチームを組むことができる。	賛成														
・リーダーシップを発揮するのの一部の人となってしまう。 ・自分(実行委員)の班以外の下級生の実態がわからないのでは。	・少ない人数の入れ替えなので、新しい交流が生まれる。	・班長全員の誰がどのグループか確認しながら進めなくてはならないので、時間がかかる。	心配														
・最後にできあがったグループを見て、6年生全員で調整すればよい。 ・各学級の班長に教えて力の程度を教えればよい。	・交換するグループの数を増やせばよい。(例えば、4つのグループで交換する)	・土台はやはり実行委員など少数に決めてもらい、最後にたてわり班長全員の確認をするのが時間がかからなくてよい。	改善														
7 決まったことの発表																	
8 ふり返り	<p>・「友達は」「自分は」「実践に向けて」の3観点でふり返らせる。</p> <p>・話し合いの「よかったところ」「改善したいところ」「計画委員のねざらい」「実践に向けて」の4観点で話をする。</p>																
9 先生から																	
10 終わりの言葉																	

補助資料2 (授業構造図)



【思考・判断・表現】よりよい活動になるように考え、判断し、まとめようと話し合っている。

指導助言

評価規準